

「横浜トリエンナーレガイド」 横浜市内の全小・中・高等学校など 約650校に配布

第8回横浜トリエンナーレは、国際展「野草：いま、ここで生きてる」を鑑賞する手がかりとなる「横浜トリエンナーレガイド」を、4月10日（水）から横浜市内全ての小学校、中学校、高等学校など約650校を通じて児童・生徒へ届けます。

- [配布開始日]** 2024年4月10日（水） ※順次、各学校へ配送します。
- [配布対象]** 横浜市内の小学校、中学校、中等教育学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校など約650校（小学校：約350校、中学校：約170校、高等学校：約90校 ほか）
- [配布枚数]** 約39万枚
- [内容]** 詳細は、WEBサイトでご確認ください。
<https://www.yokohamatriennale.jp/2024/news/6292>

「横浜トリエンナーレガイド」は、児童・生徒たちに、現代アートをより身近に感じてもらうことを目的に、横浜美術館教育普及グループの協力を得て作成しました。

ガイドは、小学1年生から3年生向け、小学4年生から6年生及び中学生向け、高校生向けの3種類あります。横浜トリエンナーレのアート作品やアーティストの取組、展覧会のみどころ、美術館での過ごし方などについて紹介しています。いずれも来場前に使用することを想定しており、児童・生徒にとってわかりやすく、飽きずに読むことができる内容です。

なお、第8回横浜トリエンナーレでは、このほかにも子どもやファミリー、美術館にあまり馴染みのないアートビギナーや若者を対象に、現代アートに親しむツールやプログラムを多数用意しています。

横浜トリエンナーレガイドの概要

- ・「みなとみらいぼうけんすごろく」（小学校1・2・3年生向け）

横浜トリエンナーレが開催されている会場の巡り方、作品の楽しみ方をゲーム感覚でシミュレーションできるすごろくゲームです。



・「冒険ノート」(小学校4・5・6年生、中学生向け)

現代アートの作家や作品が、より身近に感じられるゲームです。2択のどちらかを選びながら様々な作品に出会うことができます。



・「Wild Grass News」(高校生向け)

アーティストやデザイナーを紹介した、ジャーナル仕立ての読み物です。制作の背景や作家の意図がわかり、鑑賞の手がかりになります。

